フットボール・ハスタス

編集／ＢＢＩ編集部　取材・文／　ヤーセミン・シェンソイ＆アイクット・サソン

連載第11回「皇帝テリム、フィレンチェを征服！」

国内、国外共に活躍を続けるトルコ人スポーツマン。
暗いニュースが多い中、スポーツだけは国民に明るいエネルギーを与え続けてくれている。
ビル・バシカ・イスタンブル・スポーツ特集「フットボール・ハスタス（サッカー狂）　　　」。

■トルコ国外

もはや、ヨーロッパの押しも押されぬスーパーチームとなったガラタサライは、二〇〇一年二月、国際サッカー史・統計連盟（IFFHS＝Uluslararası Futbol Tarihi ve İstatistikleri Federasyonu）によって、「世界で最も良いチーム」と評価された。これは、世界の強豪として名高いスペインのリアル・マドリッドを蹴落としての初評価。少しずつトルコ・サッカーチームの勝利が偶然ではなく、実力として評価され始めたものと考えられる。ガラタサライに続く、ベシクタシ・チームの評価は四四位、フェネルバフチェ・チームは一九六位と前回より落ちた。

アヴルパ・シャンピヨンラル・リギ（ヨーロッパ・チャンピヨンズ・リーグ）

やっとのところで二回戦に進出したガラタサライは、Ｂグループでスペインのデボルティヴォ、フランスのパリ・サンジェルマン、イタリアのミランと戦っている。好調な戦い振りで余裕さえ見せているガラタサライは、周囲に「これなら準々決勝に進めるかも・・」という期待を起

ヨーロッパ・サッカー界の強豪チームに仲間入りを果たしたガラタサライ。

させている。もし、準々決勝に進むことができたら、これまたガラタサライはサッカー史上に「史上初」の刻印を刻むこととなる。

フィレンチェの心をつかんだトルコ人

「征服王(ファーティフ)」の誉れ高い熱血名監督ファーティフ・テリムは、昨年「トルコのチームを初めてUEFA優勝に導いた監督」という、その地位と名声をいとも簡単に振り切って、イタリア・フィレンチェのチーム「フィオレンティナ」の監督となった。

イタリア国内リーグでも下から数えた方が早いフィオレンティナは、フィレンチェのほとんどを所有するチェッキ・ゴリが所有する田舎チーム。何故テリムがフィオレンティナを選んだのか最初は誰も想像できなかった。

「もっと上位に」「もっと新しい実績を」をポリシーとして、常に向上を目指してきたテリムの今回の目標は、サッカー大国イタリアで、名もない田舎チームをリーグの一位にさせることだったようだ。

予算がないことを理由に、テリムは希望する選手の引き抜きも拒否され、控えの選手もほとんどいないまま、手持ちの選手を率いてイタリアリーグで戦うことを余儀なくされたが、テリムがフィオレンティナに来てから約五ケ月、イタリアはフィオレンティナから目が離せなくなった。

毎試合、稲妻のように駆け回り、リーグの下位から年末にはリーグ五位の成績を得たフィオレンティナは、ついに一月一四日には、イタリアの「スターチーム」と呼ばれるミランを四対〇で屈辱的な敗退に追い込んだ。この勝利にフィレンチェの人々は狂喜。テリムは、かつてガラタサライの勝利でトルコ人に与えた喜びを、今フィレンチェの人々に与えていた。

フィレンチェでは今までにないサッカー熱が燃え上がり、試合ではトルコ語を覚えて声援をおくり、テリムを「インパラトル・テリム」と呼ぶまでになった。またトルコ人も、「テリムの活躍はトルコの勝利」とフィオレンティナをトルコチームのごとく応援し、イタリアのサッカーに注目した。

しかし、フィレンチェの人々応援団の盛り上がりを背に、テリムとチームのオーナー・ゴリとの不和は、メディアに毎日取り上げられ、「テリムはミランの監督になることを承諾し、契約した」と書き立てられた。テリムはこれを否定し、シーズン末まではフィオレンティナに残ることを強調していたが、犠牲祭前の二月二六日試合後のゴリとの衝突を機に、シーズンの途中で監督を辞めることを発表した。

これと同時にフィオレンティナのコーチ陣もこぞって辞表を出し、フィオレンティナは選手だけになってしまった。テリムの辞表後、テリムを弁護したフィオレンティナのキャプテン・ルイコスタに処分を与える等、ゴリの独裁ぶりは続いているが、フィレンチェの人々はゴリの引退を希望して署名活動を始めた。

İmparator TERİM

インパラトル・テリム！

フィレンチェにトルコ旋風を巻き起こし、「インパラトル（皇帝）」と呼ばれるようになったファーティフ・テリム。

■トルコ国内

トルコ国内リーグでは、ガラタサライは、海外での試合の疲労がたまってか、あまり成績がふるわない。一方近年アナトリアのチームのレベルも上がり、年々国内リーグはより白熱したものになってきている。

リーグの後半現在の成績は、長い低迷から抜け出して実力を発揮し始めたフェネルバフチェを先頭に、二位ガラタサライ、三位ガーズィアンテップ・スポーツとなっている。

トルコカップ決勝は、不調のベシクタシを負かした今年好調のゲンチレルビルリィと、ガラタサライにペナルトで勝ったフェネルバフチェ間で争われる。

（二〇〇一年二月二七日現在）